

にいがた
勤務医ニュース

発行所
新潟県医師会
新潟市中央区医学町通 2-13
TEL 025 (223) 6381

医師会への積極的参加を期待する

新潟県医師会 副会長 小池 哲雄



皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

医師として新たな道の 開拓者たれ!

新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 教授 寺井 崇 二



卒業おめでとう。病死をみて学んでいくことにな
とうございませう。また選ぶ診療科に
す。皆さんは よって、過ごす時間が違うと思ひ
医師として第 患者さんにとって、医師と
の出会いが一期一会です。ぜひ、
このことを頭に置いて、日々の業
務として医療を行うのではなく、
目の前の患者さん一人一人に対し
新鮮な気持ちで病を診ていってほ
しいと思ひます。目の前の患者
次にくる患者さんにとって、『い医
生とは何であるか』を常に考え
続けていってほしいと思ひます。
私が日々実感している『医学の
常識や概念は一時的なもので、新
しい研究により変化・修正するも
のである』という言葉があります。
例えば、私の卒業は一九九〇年
前年はC型肝炎ウイルスが発見さ
れた年でした。当時の消化器内
科領域の医師は、それまで非A非
B型肝炎とされていた病態が、新
たに慢性C型肝炎と診断され、当
時の最先端治療としてインターフ
エロンの治療を懸命に行ってい
ました。一方で、今、話題になっ
ている脂肪肝は『ウイルス性ではな
く、進行しないので安心していい』
というものが、その時期の常識で
、脂肪肝の中に一〇％は存在する進
行性の非アルコール性脂肪肝は
ない病気』に対して、逃げずに、
是非、挑戦するといふ気持ちを持
てて難しい問題に取り組んでほ
しいと思ひます。その経験が
ら、解決する新しい知恵、着想が
きつと見つかると思ひます。専門
医、学位の取得には卒業後十年は
かかると思ひます。その十年で、
専攻する領域の『基礎的な診断治
療能力』、そして患者さんと一緒
に新たな、医学、医療を開発する
『Clinician-Scientist』の基本を身
につけてほしいと思ひます。

皆さん、卒業おめでとう。病死をみて学んでいくことにな
とうございませう。また選ぶ診療科に
す。皆さんは よって、過ごす時間が違うと思ひ
医師として第 患者さんにとって、医師と
の出会いが一期一会です。ぜひ、
このことを頭に置いて、日々の業
務として医療を行うのではなく、
目の前の患者さん一人一人に対し
新鮮な気持ちで病を診ていってほ
しいと思ひます。目の前の患者
次にくる患者さんにとって、『い医
生とは何であるか』を常に考え
続けていってほしいと思ひます。
私が日々実感している『医学の
常識や概念は一時的なもので、新
しい研究により変化・修正するも
のである』という言葉があります。
例えば、私の卒業は一九九〇年
前年はC型肝炎ウイルスが発見さ
れた年でした。当時の消化器内
科領域の医師は、それまで非A非
B型肝炎とされていた病態が、新
たに慢性C型肝炎と診断され、当
時の最先端治療としてインターフ
エロンの治療を懸命に行ってい
ました。一方で、今、話題になっ
ている脂肪肝は『ウイルス性ではな
く、進行しないので安心していい』
というものが、その時期の常識で
、脂肪肝の中に一〇％は存在する進
行性の非アルコール性脂肪肝は
ない病気』に対して、逃げずに、
是非、挑戦するといふ気持ちを持
てて難しい問題に取り組んでほ
しいと思ひます。その経験が
ら、解決する新しい知恵、着想が
きつと見つかると思ひます。専門
医、学位の取得には卒業後十年は
かかると思ひます。その十年で、
専攻する領域の『基礎的な診断治
療能力』、そして患者さんと一緒
に新たな、医学、医療を開発する
『Clinician-Scientist』の基本を身
につけてほしいと思ひます。

皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。然るに住まい・医療・介護・生活支
ごさいます。援・介護予防を、あなた方医師を
は研修医とし 中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院 提供(所謂、地域包括ケアシステ
△)しなければならぬとなります。

を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、は
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

卒業おめでとう



長岡赤十字病院 院長 川嶋 禎 之

五常について

卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

場について説明いたします。私、
昨年七月より長岡赤十字病院の
院長を勤める、皆さんの親御さん
と同じか、やや上の世代の平凡な
整形外科の勤務医です。直近の新
任院長が三月の原稿を執筆する慣
習とのことで、僭越にも人生訓め
いたことを書く役回りになりまし
た。化けの皮がはがれない程度に
引用を交えて餞の言葉を書かせて
いただきます。

皆さんはこれまでの学生生活
で、医学の基礎的、基本的知識を
学び、また、いわゆる新潟大学医

皆さん、卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

皆さん、卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

皆さん、卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

皆さん、卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

皆さん、卒業おめでとう。このこれから社会に
出る皆さんへの餞
を書きよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

卒業おめでとうございます

新潟市民病院 清野 あずさ (平成二十四年卒)



卒業生のみならず、この度はご卒業おめでとうございます。私が、初期研修に励んでいく中で、国家試験大変お疲れ様でした。三月に入り、最後の学生生活を満喫し思い出作りに勤しんで、四月からの研修医生活に、期待と不安に胸を膨らませていらっしやるのではないのでしょうか。四月から初期研修を開始される方が多いかと思いますが、自分自身を振り返ると、初期研修はあっという間に過ぎていってしまった二

年間であります。また色々なことを吸収し、医師としての基盤を作る非常に貴重な二年間でもあり、私の乏しい経験ではありませんが、初期研修に励んでいく中で、大切に思った点について、お伝えできればと思います。一つ目は、自分の頭でしっかりと考えるということです。日々初めてのことばかりで、どうしようかと焦る場面も多いかと思いますが、そんな時は、まず自分の頭で整理して、鑑別を挙げる、また調べてみる、そういった経験が成長につながるのではと考えています。もちろんその上で、指導医の先生と相談をしたり、質問をして解決す

新卒研修医の先生方へ

厚生連柏崎総合医療センター 須藤 真則 (平成二十五年卒)



新卒の先生、医から若手の医師まで懇切丁寧にご卒業・国家試験合格おめでとうございます。ぜひそのような場所で積極的にディスカッションを行い、学生時代に学んだ知識を実際の症例と照らし合わせ、臨床的判断の考え方を学びながら実践の場で経験を積んでください。おそらく、先生方がこれからは、患者さんで教科書通りにいかない治療が進んでいくケースはほとんどないと思います。実際の現場では、一人の患者さんが複数の種類の病気を抱えており、また病状だけでなく患者さんのバックグ

卒業おめでとうございます。今後はロールモデル・メンターとなれるように

厚生連上越総合病院 水澤 桂 (平成二十五年卒)



上越総合病院、院・総合診療科で後期研修をしています。研修前と後とで変わってしまふ方もいるでしょう。メンターとはビジネス用語で「優れた指導者・助言者・恩師」のことをいうようです。何でもグリーシャ神話で、オデュッセウスがトロイア戦争に出陣するとき、自分の子供テレマコスに託したすぐれた指導者の名前メンター

後悔のない二年間を

厚生連長岡中央総合病院 横川 かおり (平成二十五年卒)



皆さん、ご卒業おめでとうございます。専門の先生に手取り足取り教えていただくことも守ってもらったこともありません。そう考えると研修医という期間は機会と時間に恵まれ、かつ失敗してもフォローしてもらえ、貴重な医者モラトリアムの期間だったのだなとしみじみ思います。偉そうなことを書きました。私が、私は研修時代にたくさん後悔があります。ある程度進路を絞っていた私は、あまり興味の湧かない科、苦手な科には心の中で線引いてしまっていました。そのせいで医学的知識も進路の選択も狭まってしまつたように思います。また専門に入り内科医として働く上で、他分野の知識不足を日々痛感しています。

思い返せば三年前の三月三十一日夜、「ついに医師としての生活が始まるのだな」と不安を胸に床に就いたこと覚えてます。専門一年目となり感じたことは、研修医の時にいかに広い知識を得ておくか、専門に入ってから診療の幅と深さが違うということ。私は代謝内分科に入室しましたが、病院では「内科」医という立場になります。患者さんも「生粋の糖尿病患者」ではなく、腎不全患者であり、狭心症患者であり、認知症患者であり、急性膵炎の治療をすることもあります。専門に入つてしまつと、他分野を学びたくてもその機会や時間は自分

ご卒業おめでとうございます

済生会新潟第二病院 牧野 麻美 (平成二十六年卒)



皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業試験、国家試験を無事に乗り越え、安堵さされた余暇を満喫している頃でしょうか。皆さんは多くは四月から臨床研修が始まりますね。まだ偉そうにアドバイス出来るような立場ではありませんが、少しでも皆さんの参考になればと思います。私の二年間の研修生活で感じたことを、自分への反省の意味もこめてお伝えしたいと思います。①「積極的に挑戦し、取り組んでみましょう」経験すべき手技など色々なことに積極的に挑戦してみよう。屍に挑戦することはとても緊張し、尻込みしてしまうかもしれません。しかし、指導医の先生が最初から最後まで見て下さっている状態です。待たれるようになるわけですが、皆さん迷わず己の道を一步一步進んでいきましょう。なかなか真つすぐ一本道を作れる人なんていません。迷つて回り道をするほど道は広がっていくものです。次の世代の後輩がきつと後姿をみてくれますよ。

経験

県立新発田病院 村山 雄大 (平成二十七年卒)



こんには、新発田病院研修医の村山雄大です。研修医になつて一年が経とうとしていました。本原稿を書くにあたって、一年前の自分を思い出してみたい。二月に国家試験を受け、それから地球の裏側へ一か月間、帰ってきてからは飲み会、飲み会、卒業式、飲み会、楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、気が付けば四月一日。この頃には国家試験の最大瞬間風速で詰め込んだ知識のほとんどは、何処か遠くへ行つてしまつたと記憶しています。研修が始まつた頃の自分は、心電図を見ても心拍数が分からず、清潔野で糸結びができず、救急車を前にして慌てふためき、視床出血と被出血の区別がつかず、
「なに？なに？なに？」の皆さんと対極にいました。それでも、毎日すこすこ知識を得て、忘れて、行えるのは研修医だけの特権だと思えます。もちろん自ら前もって勉強してやることは必要となり、そんな日々を過ごして、その都度振り返ることをおすすめします。

②「悩んでいるのは自分だけではありません」これは研修生活で、自分の至らなさに落ち込むことがあるかもしれません。また同期の研修医と比べて差を感じ、不安になることもあるかもしれません。しかし自分一人だけではない、実は同期にもそれぞれ悩みがあったりします。お互い助け合おうと、研修を更に充実したものにしてくるでしょう。③「感謝の気持ちを忘れてはいけません」してもらって当然、やらせてもらって当然というふうには考えてはいけません。感謝する気持ちを忘れず、患者さん、指導医の先生方、コメディカルの方達に対して謙虚な姿勢を心掛けることが大切です。皆さんが充実した臨床研修を行えるよう心から祈っております。体には健康が第一です。皆さん、熱く研修医生活を送ってください。そして、なりたい医師像に近づける様頑張ってください。(高橋)

編集後記

卒業をもって学校の全課程を修了したと認められ、医師として社会人としての長いキャリアがスタートします。本号では先輩から皆さんに、多くのことはなむけのことばをいただきました。「鉄は熱いうちに打て」とは、柔軟性のある若いうちに鍛えることが大事だということ、物事は時期を逃さないうちに実行しないと成功し難いという教えでもあります。私たちの時代より、能動的な研修医生活が要求される時代であると思えます。皆さん、熱く研修医生活を送ってください。そして、なりたい医師像に近づける様頑張ってください。(高橋)